

糸島市学術研究都市推進計画（案）に対するパブリックコメントの意見集約について

章	頁	項目	計画案に対する市民の意見	意見に対する市の考え方	修正案
Ⅲ	19	①産学官連携による産業の活性化や新産業の創出（産業づくり）	<p>リサーチパーク、水素、LSIIに関する同じ様な記述が、指摘箇所以外にも計画書の中に6回出て来る。もし、重要な構想であるならば、少し洗練して記述すべきだ。</p> <p>さらに、九大関連と福岡県が進める最先端技術の推進は理解できるが、その方針と、P16に記載されている企業の問題点に大きな隔たりを感じる。</p>	<p>必要以上に説明が多いとの指摘は理解するが、それぞれの章や項目ごとに当該施設が整備される背景や展望を記述しており、必要なものとする。</p> <p>また、市内の企業のニーズとリサーチパーク内の福岡県が進める最先端技術の推進との隔たりは理解できるが、市内の企業と連携を進めることが重要であるため、今後調整を図る。</p>	<p>今後の施策実施の際における参考意見とするが、計画案の修正はせず原文のままとする。</p>
Ⅲ	23	(2)分散型地域核「ほたる」の展開	<p>P20にある前原東土地区画整理による九大関連の受け皿創りと「ほたる」による考え方は、お互い矛盾している。</p> <p>また、具体的に市街化調整区域に点在する「ほたる」はどのような整備手法で行おうとしているのか？具体的なイメージが見えない。</p>	<p>前原東土地区画整理事業は九大関係者の居住の受け皿というだけでなく、良好な住環境の整備による市の定住人口確保策の柱という側面もあるのに対し、「ほたる」は九州大学学術研究都市構想に基づく九大関係者の居住や九大関連の研究所・企業の立地の受け皿である。</p> <p>「ほたる」の整備手法については、市街化調整区域の地区計画の活用及び九州大学学術研究都市推進機構が検討している整備手法を参考に検討する。</p>	<p>計画案は修正はせず原文のままとする。</p>